

(中国乙22)
梅毒 発生推移
=2023年12月度=

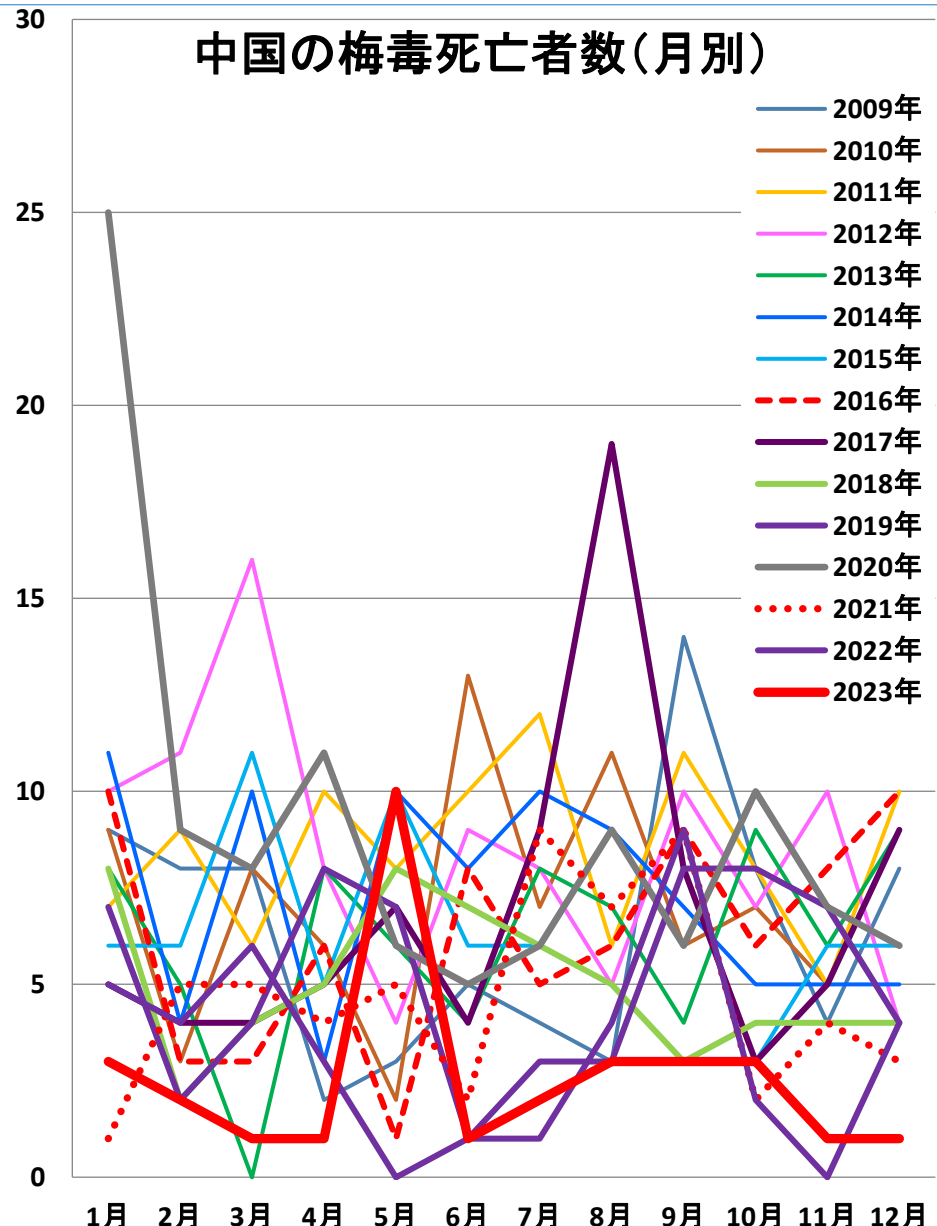
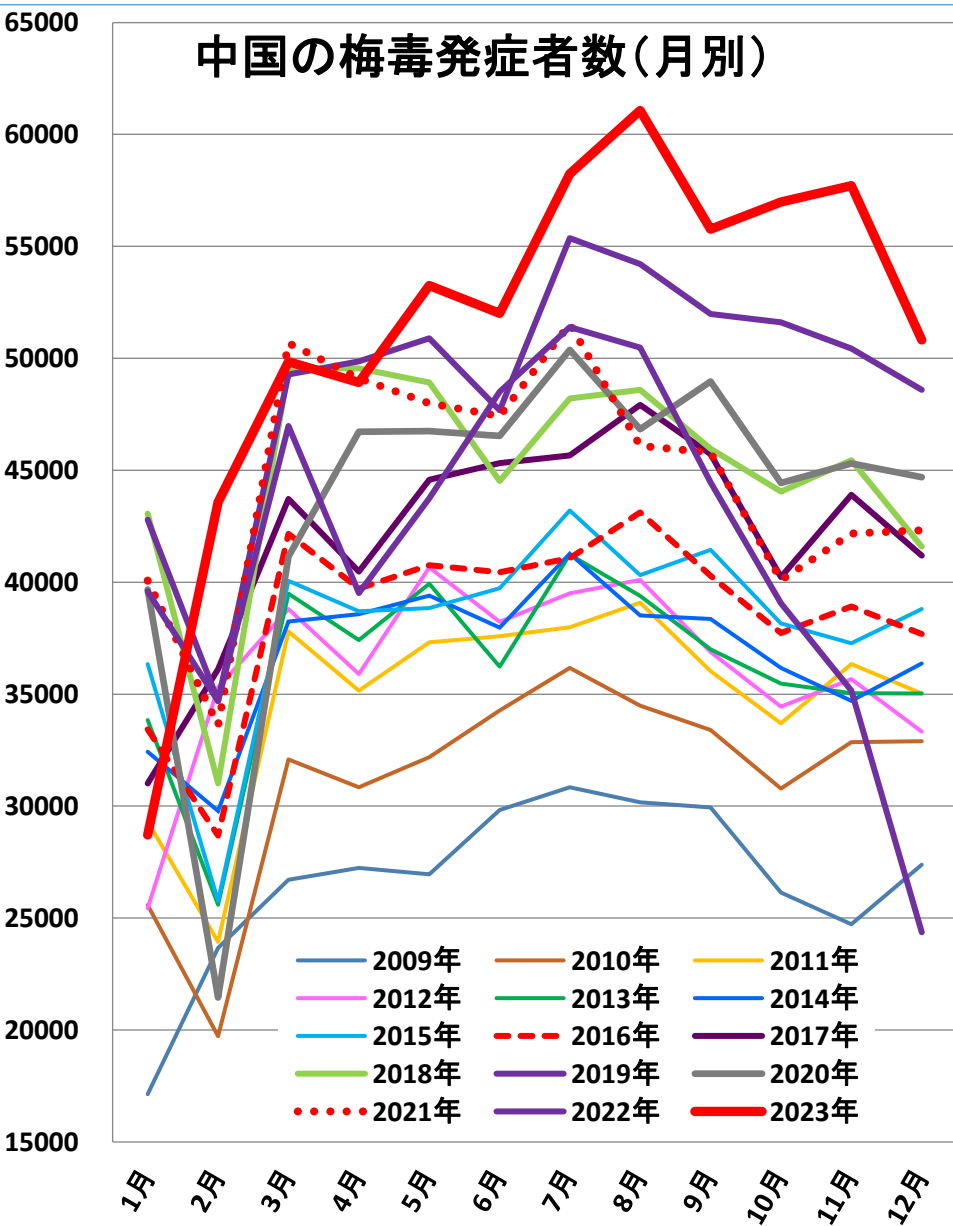
発表：2024年01月15日 国家NDPCA

作成：2024年01月18日
日中医療衛生情報研究所

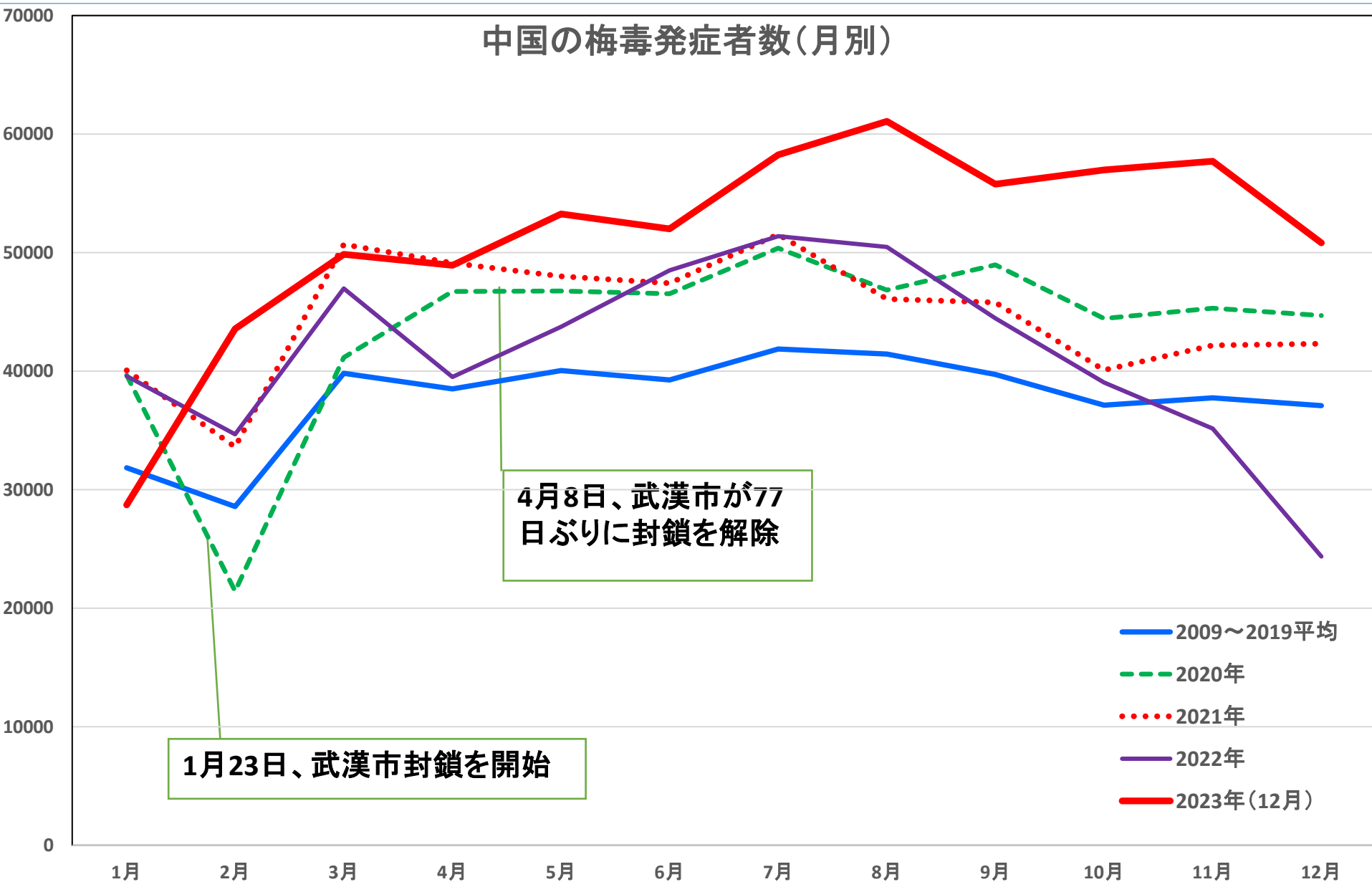
梅毒

- エイズ・B型肝炎・C型肝炎といった他の性感染症も右肩上がりの中、(淋病は2018年度減少に転じた?)
- 中国の梅毒の特徴は、
 1. 毎年数十万人の患者が出ており、毎年増加の傾向
 2. 月別では、毎年2月に発症者数が底を打ち夏場に増え、秋口に一旦減少後に12月に小さなピーク
 3. 2015年は、433,974人となったが、
2016年438,199人、 2017年475,860人、
2018年494,867人、 2019年535,819人に。
2019年5月から連続9か月続いた過去最悪の状況は
2020年1月以後激減、コロナの影響？
2020年は464,435人と減ったが、死者は増えている。
2021年480,020人、 2022年497,934人(速報ベース)、
2023年616,933人(速報ベース)と急増。中国4大STD復活か。

乙22：梅毒

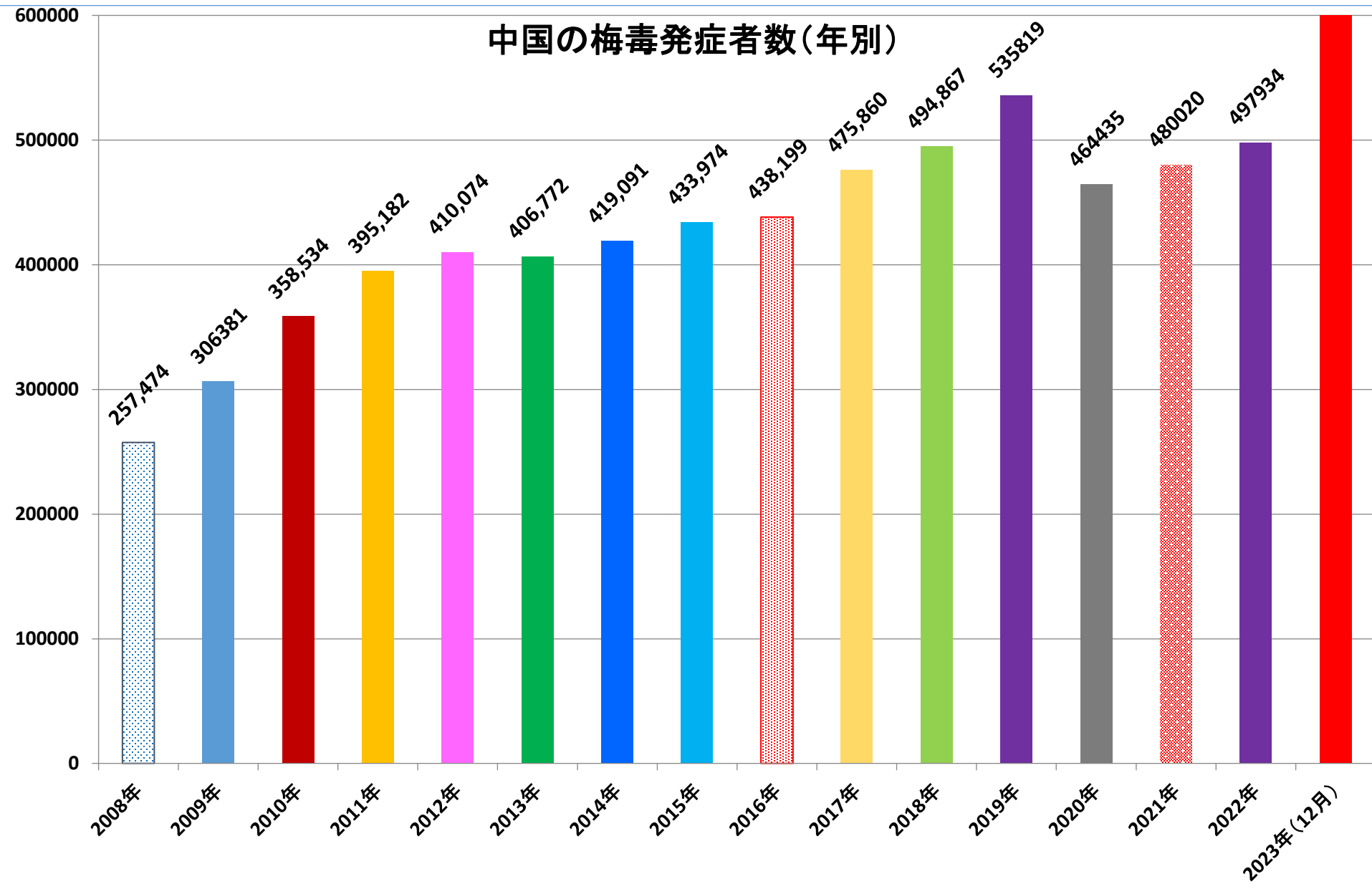


乙22：梅毒：コロナの前後



乙22：梅毒

中国の梅毒発症者数(年別)



乙22：梅毒

